

2023年9月教会便り 砂川

主任司祭 ナルチゾ神父

9月の教会のカレンダーでは、聖マリアの誕生、十字架称賛などの祝日、聖マタイ福音史家、聖ミカエル、聖ガブリエル、聖ラファエル大天使の祝日、聖トマス西と15殉教者の記念日があります。また年間周期（22～25主日）が続きます。

今年の年間周期では、マタイ福音書にそって、神の国に関する主要箇所が朗読されています。イエスが説かれた「神の国」とは、つまり「小さい者」へ配慮し、これらの人びとの重荷を引き受けることです。

8日には、聖マリアの祝日を祝います。この日は「全世界の希望と救いのはじまり」を祈る日です。心を新たにマリアと共に平和のたまものを祈り求めましょう。今、平和のために真剣に祈る必要があります。わたしたちの間の平和を大切に生きながら、人びととの平和、世界の平和をも希求し、祈っていきましょう。



24日の「世界難民移住移動者の日」では、「移住かとどまるかを選択する自由」という

テーマで、“教皇がメッセージ”を送られています。教皇が伝えているメッセージと教皇の意向に合わせて、共に祈っていきましょう。(参考 Laudate)



9月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
3	日	年間第22主日 被造物を大切にす世界祈願日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:安藤 第2:間野 答唱詩編:多田/高塚 オルガン:古野
10	日	年間第23主日 司祭と召出を求めのために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:西川薫 第2:トウイハン 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:齋藤
17	日	年間第24主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:高塚 第2:岡本 答唱詩編:間野/安藤 オルガン:古野
24	日	年間第25主日 世界難民移住異動者の日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:西川薫 第2:多田 答唱詩編:三上夫妻 オルガン:古野

◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00、土曜日 10:00

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

4日 ヴィテルポの聖ローザおとめ

多田玲子、三上朋子

29日 聖ミカエル大天使

間野正孝神父



みなさん、こんにちは。カトリック大会は3年ぶりになりますね。どうしてかという、この3年間、コロナウイルスのせいで、わたしたちは集まることができなかった。コロナウイルスは、わたしたちの生活リズムを崩してしまいましたね。まず、マスクをつけることになりましたね。顔が見えなくなる、ニコニコしている人の顔、寂しい人の顔、あるいは、苦しんでいる人の顔、嬉しい人の顔、子どもの顔、嬉しそうな顔、全部無表情になってしまいました。顔は作ったマスクのようになってしま

いました。

また、予防注射をするようになりましたね。5回しましたが、わたしも一回、一回、自分の年を考えますとね、右から読めば48歳です。右から読めばね。この注射に耐えるか、あるいは負けるかと、心配しながら5回も注射しました。とにかく、無事に終わったと感謝しています。6ヶ月経ったら、まだ注射あるみたいですけど。集まる時になるべく多くの方は、集まらない（密集しない）ように。距離を守るように。1メートルと決まっていた。どこにでも、教会でも、お店の中でも、どこでも、距離を守ってくださいなど。御ミサに参加するとき、参加する人の数が制限されて、小さな声でお祈りをして、歌なし。典礼に対する魅力が無くなったような気がしました。教会だけではなくて、病院の見舞いが出来なくなったので、多くの方は孤独に帰天されました。お葬式も、目立たないように、親戚だけの参加など、皆さんが体験していることです。私たちの生活リズムは、先ほど言ったように、崩れてしまいました。



この大会のテーマは司教様から、またシノドスから、わたしたちに与えられたのです。「共感する心～寄り添い、耳を傾け、ともに歩む～」というテーマです。一つ一つは素晴らしい目標ですが、ユートピアに終わってしまわないように。謙虚な気持ちで、また失敗しながらでも、神様と人の言葉を聴くこと、大切だと思います。



神のみことばによって宇宙万物が造られました。ヨハネの福音書一章に書かれています。みことばには命があったと。わたしたちは、そのみことばを聖書の中で読みます。

聖書を持っていない信徒はほとんどいないと思いますが、死ぬ時にその人が聖書を読んだかどうかは聖書自体をみたらわかる。きれいに飾った聖書、本棚にそのまま残った聖書。ボロボロになった聖書は、よく読んだということですね。子どもにいたずら書きをされた聖書。お母さんは聖書を読みながら、子どもは聖書にいたずら書きを鉛筆などで書いたのでしょうか。でも、聖書には神の言葉です。

毎日色々な人の言葉を聞くのです。商売をしている人の言葉、権力を持っている人の言葉、政治家の言葉、でも、わたしたちのことを考えてくれるのは、わたしを愛してくれるのは、神様だけですね。それだけ、わたしたちは、安心して自分のことを神様に任せることができます。

人の言葉を聴くことも大切です。皆から学ぶことがある。子どもからも学ぶことがあります。わたしは、子どものことが大好きですが、幼稚園の園長として、小さな3歳の子どものを抱いて、彼は一生懸命わたしの顔を見て、こういう質問をしました。園長先生、自分の顔が好きなの？と聞かれたので、わたしは何と答えたら良いのかわからなかった。考えたこともない。この顔しかないんですからね。自分の顔を、これでいいかどうかは、分かりません。好きか嫌いかわからない顔ですから。日本人の曖昧な言い方から学んで、逆に彼に、君はどうなんですか？と聞いたのです。彼は、「僕はじぶんの顔が大好きです。ああ、そう。どうして？だって、ママがつくってくれた顔。神様がつくってくれた顔」。ああ、そうだね。園長先生もこの顔が好きだね。ママがくれた顔。この顔はどこにもないよね。唯一の顔でしょうと。整形外科行って変える必要はないでしょう。この顔は、神様に愛された顔だからということ。



学ぶことがたくさんあるんじゃないかなと。イエス様は、わたしたちに、人から、皆から学ぶことを、教えてくれたのですが、おごり高ぶる人は神から嫌われるということなのです。

イエス様を小さな人の中に見る。この最も小さな人にしてあげたことは、つまりわたしにしてくれたことだ。だから私たちは、礼拝を教会の中でも、日常生活の中でも、人の中にイエス様を見るならば、大切にすれば、教会から出てから

も礼拝することができます。

初代教会の共同体から学びたいと思います。使徒行録 4 章 32 節から 36 節。「信じた人々の群れは、心も、思いも一つにし、一人としてではなく、共同体として生活していた。信者の中には、一人も貧しい人はいなかった」。

わたしたちの中に、もし、一人でも貧しい人、色々な意味で貧しい、年寄り、病気、孤独などがあるならば、わたしたちは、やはり十分に、イエス様の愛の掟を実行していないと思います。

皆、これからマスクを取って、人の顔を良く見て、笑ったり、苦しんだり、また苦勞したりすると、優しい言葉、愛の言葉をかけることができるようにしたいものです。長い話申し訳ありませんでした。どうもありがとうございました。



◆お知らせ

- ・ロザリオ会は 9/22 (金) 19:00～ 安藤さん宅で行います。
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

◆幼稚園の予定

- 5 日 (火) 運動会総練習
- 9 日 (土) 運動会 (砂川総合体育館)
- 19 日 (火) 地震避難訓練
- 20 日 (水) 9 月生まれ誕生会
- 21 日 (木) 開園記念日
- 27 日 (水) 全園児遠足

花当番	
2日(土)	古野
9日(土)	高塚
16日(土)	多比良
23日(土)	野呂
30日(土)	安藤

